

# 2011年度連結決算と2012年度連結業績見通し

2012年5月25日  
(株)メタルワン

## 損益計算書

(単位:億円)	2011年度実績		2010年度実績			
	連結	単体	連結		単体	
				増減		増減
<b>売上高</b>	<b>24,730</b>	13,202	<b>25,235</b>	▲ 505	14,088	▲ 886
総利益 (総利益率)	<b>1,095</b> (4.4%)	301 (2.3%)	<b>1,161</b> (4.6%)	▲ 66	321 (2.3%)	▲ 20
営業費	▲ 819	▲ 248	▲ 825	6	▲ 247	▲ 1
貸倒費用	▲ 0	▲ 2	▲ 43	43	▲ 45	43
暖簾償却	▲ 6		▲ 5	▲ 1		
<b>営業利益</b>	<b>270</b>	51	<b>288</b>	▲ 18	29	22
受取利息	7	8	6	1	8	0
支払利息	▲ 36	▲ 11	▲ 30	▲ 6	▲ 12	1
利息収支	▲ 29	▲ 3	▲ 24	▲ 5	▲ 4	1
受取配当金	17	121	18	▲ 1	70	51
その他営業外収益	26	3	28	▲ 2	2	1
その他営業外費用	▲ 15	▲ 8	▲ 11	▲ 4	▲ 8	0
持分法利益	▲ 18		18	▲ 36		
<b>経常利益</b>	<b>252</b>	164	<b>317</b>	▲ 65	88	76
特別利益	32	33	44	▲ 12	11	22
特別損失	▲ 30	▲ 20	▲ 37	7	▲ 21	1
<b>税引前利益</b>	<b>254</b>	178	<b>324</b>	▲ 70	79	99
法人税等	▲ 92	▲ 30	▲ 111	19	▲ 20	▲ 10
少数株主利益	▲ 18		▲ 25	7		0
<b>当期純利益</b>	<b>144</b>	148	<b>188</b>	▲ 44	59	89

### 基礎収益

241

344

▲ 103

基礎収益=営業利益(貸倒費用を除く)+利息収支+受取配当金+持分法による投資損益

## 連結貸借対照表

(単位:億円)	2012年3月末		2012年3月末		
	2011年3月末比		2011年3月末比		
<b>流動資産</b>	8,724	820	<b>流動負債</b>	7,080	859
現金及び預金	342	8	取引債務	3,775	244
取引債権	6,287	568	短期借入金	2,873	481
棚卸資産	1,798	200	その他の流動負債	432	134
その他の流動資産	297	44	<b>固定負債</b>	1,012	▲ 187
			長期借入金	832	▲ 127
			その他の固定負債	180	▲ 59
<b>固定資産</b>	2,367	▲ 182	<b>負債合計</b>	<b>8,092</b>	<b>673</b>
有形・無形固定資産	1,105	▲ 2	資本金・資本剰余金	1,500	0
投資その他の資産	1,261	▲ 179	利益剰余金	1,218	49
			資産負債評価・換算差額等 (少数株主持分を除く純資産計)	▲ 85	▲ 96
			少数株主持分	2,633	▲ 47
				365	12
			<b>純資産合計</b>	<b>2,998</b>	<b>▲ 35</b>
<b>資産合計</b>	<b>11,091</b>	<b>638</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>11,091</b>	<b>638</b>

## 連結対象会社数

	子会社	関連会社	連結対象計
事業投資先	90(▲1)	47(▲2)	137(▲3)
国内・海外法人	20(+1)	-	20(+1)
<b>合計</b>	<b>110(±0)</b>	<b>47(▲2)</b>	<b>157(▲2)</b>

・括弧内は前年度末からの増減  
・孫会社を除く連結対象子会社は78社

## 連結財務指標

	2012年3月末	2011年3月末
株主資本比率	23.7%	25.6%
D/E レシオ	1.24	1.11

・株主資本比率  
= 少数株主持分を除く純資産 ÷ 総資産  
・D/E レシオ  
= (短期借入金 + 長期借入金) ÷ 純資産

## 2011年度 連結決算の概要

### 【事業環境】

当期の世界経済は、個人消費や雇用に改善の兆しも見えたものの住宅市場の需給バランス調整が長引く米国、債務問題の抜本的解決に決め手を欠き低調に推移した欧州に加え、内需こそ堅調だが欧州向け輸出の減速や欧州銀行による資金引揚げでこれまで力強い牽引役を務めてきた中国・アジアも成長率を鈍化させた。一方、わが国経済は東日本大震災とそれによる自動車向け部品供給寸断や電力供給の逼迫、秋のタイ洪水、円高の進行などにより、足踏み状態が続いた。そういう中で、世界の粗鋼生産は前年度の14.3億トンから14.9億トンへと6,350万トン伸びたが、中国での4,900万トン増(6.39億トンが6.88億トンへ)、韓国での790万トン増、米国での620万トン増、トルコでの420万トン増があげられる。世界経済の減速、東日本大震災やタイ洪水、円高の進行による需要減、アジアでの鋼材供給増などにより、日本での粗鋼生産は430万トン減の1億650万トンとなった。

### 【業績】

当社グループでは第三次中期経営計画の最終年度を迎え、同計画で掲げたサバイバル戦略では事業環境に応じたコスト改革・危機管理を実行し、あわせて国内外での成長戦略に取り組んできたが、東日本大震災やタイの洪水の影響もあり、自動車向けを中心とした製造業向け鋼材取引の落ち込みに加え、国内建設鋼材取引も低調に推移した。

以上の結果、当年度の当社グループ連結業績は、売上高2兆4,730億円(前連結会計年度比2.0%減)、経常利益252億円(前連結会計年度比20.4%減)、連結純利益144億円(前連結会計年度比23.2%減)と、前年度実績を下回る結果となった。

### <主な項目の状況>

#### 1. 売上高、総利益

東日本大震災及びタイ洪水の影響により、売上高は前年度を505億円下回る2兆4,730億円、総利益は前年度を66億円下回る1,095億円となった。

#### 2. 営業費

サバイバル戦略に基づき引き続きコスト削減等に努めた結果、6億円減少し819億円となった。

#### 3. 特別損益

特別利益は、投資有価証券売却益や関係会社清算益等により32億円となった。  
特別損失は、投資有価証券や固定資産の売却損・減損損失等により30億円となった。

#### 4. 取引種別・対面業種別売上高

売上高を取引種別に見ると、国内が1兆7,352億円(全体の70%)、輸出が3,767億円(同15%)、海外が3,557億円(同15%)となった。また対面業種別には、自動車、流通、及び建設業界向けで50%を超え、これに製鋼原料、電機業界向けが続いている。

#### 5. 総資産、株主資本

期末休日要因等により、総資産は前年度末比638億円増加し、1兆1,091億円となった。この内、流動資産は79%を占め、引続き流動性の高い財務構造を維持している。  
また、少数株主持分を除く純資産は、株価の低迷、円高の影響による評価・換算差額等の減少により、前年度末比47億円減少し2,633億円となった。株主資本比率は23.7%と前年度末1.9%低下したものの財務の健全性は維持している。

#### 6. 有利子負債

国内の資金需要は依然として低位で推移したものの、米国や中国、アジアの新興国を中心とした海外の鋼材取引は引き続き底堅く推移し、連結ベースの借入残高は、前年度末比353億円増加し3,706億円となった。

### 【関係会社の状況】

国内では成長戦略たる既存コア事業の強化、並びにグループ経営資源の最適化を図ることを目的とし、国内鋼管/配管機材事業をメタルワン鋼管へ集約し事業展開を進めている。

また、海外では今後高い鋼材需要が見込まれるベトナムにおいて現地法人(メタルワンベトナム)を設立した他、広州での自動車用鋼材加工のニーズ拡大に対応するべく、「美達王(広州)鋼材制品有限公司」を新設し、お客様に日本と同レベルの品質・サービスを提供するべく、既存の「佛山市順徳区華日鋼材制品有限公司」との一体経営を進めている。

## 2012年度 連結業績見通し

2012年度(12年4月～13年3月)は、第四次中期経営計画の初年度として、売上高 2兆6,800億円、売上総利益 1,200億円、経常利益 360億円、当期純利益 200億円となる見通しである。